

事例) 大学と高校が共用する建物を床面積割合で按分する場合(※)

既存建物面積按分

	専有部分		③ 共通部分
	① 大学(対象)	② 高校(対象外)	
床面積 (面積按分率)	3,000㎡ (55.6%)	2,400㎡ (44.4%)	1,600㎡
③ 共通部分を①、②で面積按分	889㎡	711㎡	
面積合計	3,889㎡	3,111㎡	

※補助対象部分の経費の按分の方法として、床面積割合の他、学生数や施設利用率等の合理的方法による算出が挙げられる。

1. 耐震診断費

(金額単位:円)

項目	①見積書等の金額(消費税込)	大学(対象) ①×55.6%	高校(対象外) ①×44.4%
耐震診断業務委託費	2,304,500	1,281,302	1,023,198
合計	2,304,500	1,281,302	1,023,198

2. 実施設計費

(金額単位:円)

項目	①見積書等の金額	値引き按分		③値引き按分後(①-②)	共通費按分		⑤共通費按分後(③+④)	⑥消費税込(⑤×1.08)	大学(対象) ⑥×55.6%	高校(対象外) ⑥×44.4%
		按分率	②金額		按分率	④金額				
1.実施設計業務	17,100,000	59.8%	29,900	17,070,100	76.3%	4,722,321	21,792,421	23,535,815	13,085,913	10,449,902
2.工事監理業務	5,300,000	18.5%	9,250	5,290,750	23.7%	1,466,829	6,757,579	7,298,185	4,057,791	3,240,394
3.共通費	6,200,000	21.7%	10,850	6,189,150						
値引き	△ 50,000									
消費税相当額	2,284,000									
合計	30,834,000	100.0%	50,000	28,550,000	100.0%	6,189,150	28,550,000	30,834,000	17,143,704	13,690,296

3. 工事費

(金額単位:円)

項目	①見積書等の金額	共通費按分		③共通費按分後(①+②)	④消費税込(③×1.08)	大学(対象) ④×55.6%	大学(対象外) ④×55.6%	高校(対象外) ④×44.4%
		按分率	②金額					
1.建築工事	920,000,000	46.9%	56,842,800	976,842,800	1,054,990,224	586,574,565	0	468,415,659
2.電気工事	344,500,000	17.6%	21,331,200	365,831,200	395,097,696	219,674,319	0	175,423,377
3.空調設備工事	403,500,000	20.6%	24,967,200	428,467,200	462,744,576	257,285,984	0	205,458,592
4.衛生設備工事	105,000,000	5.4%	6,544,800	111,544,800	120,468,384	66,980,422	0	53,487,962
5.昇降機設備工事	11,912,000	0.6%	727,200	12,639,200	13,650,336	7,589,587	0	6,060,749
6.屋外施設工事(対象外)	175,000,000	8.9%	10,786,800	185,786,800	200,649,744	0	111,561,258	89,088,486
7.共通費	121,200,000							
消費税相当額	166,488,960							
合計	2,247,600,960	100.0%	121,200,000	2,081,112,000	2,247,600,960	1,138,104,877	111,561,258	997,934,825

新棟面積が既存建物面積を上回る場合

新棟面積

	専有部分		③共通部分
	①大学(対象)	②高校(対象外)	
床面積 (面積按分率)	4,500㎡ (60.0%)	3,000㎡ (40.0%)	1,600㎡
③共通部分を①、 ②で面積按分	960㎡	640㎡	
面積合計	5,460㎡	3,640㎡	

※大学 圧縮率(補助対象): 既存建物面積(大学分) ÷ 新棟面積(大学分) = 3,889㎡ ÷ 5,460㎡ = 71.2%

(金額単位:円)

		①大学(対象) (55.6%)	補助対象経費		補助対象外経費				
			②圧縮率 (補助対象)	③補助対象 (①×②)	④圧縮率 (補助対象外)	⑤補助対象外 (①×④)	⑥大学(対象外) (55.6%)	⑦高校(対象外) (44.4%)	補助対象外合計 (⑤+⑥+⑦)
耐震診断費		1,281,302	100.0%	1,281,302	0.0%	0	0	1,023,198	1,023,198
実施設計費	1.実施設計業務	13,085,913	71.2%	9,317,170	28.8%	3,768,743	0	10,449,902	14,218,645
	2.工事監理業務	4,057,791	71.2%	2,889,147	28.8%	1,168,644	0	3,240,394	4,409,038
	計	17,143,704		12,206,317		4,937,387	0	13,690,296	18,627,683
工事費	1.建築工事	586,574,565	71.2%	417,641,090	28.8%	168,933,475	0	468,415,659	637,349,134
	2.電気工事	219,674,319	71.2%	156,408,115	28.8%	63,266,204	0	175,423,377	238,689,581
	3.空調設備工事	257,285,984	71.2%	183,187,621	28.8%	74,098,363	0	205,458,592	279,556,955
	4.衛生設備工事	66,980,422	71.2%	47,690,060	28.8%	19,290,362	0	53,487,962	72,778,324
	5.昇降機設備工事	7,589,587	71.2%	5,403,786	28.8%	2,185,801	0	6,060,749	8,246,550
	6.屋外施設工事(対象外)	0	－	0	－	0	111,561,258	89,088,486	200,649,744
	計	1,138,104,877		810,330,672		327,774,205	111,561,258	997,934,825	1,437,270,288

この資料は「様式2-2」を算出する際の計算例を示すものであり、必ずしもこの様式のとおり計算する必要はない。

# サンプル

複数年度にわたる事業の年度毎の事業費を算出する場合

## 1. 補助対象面積が占める割合

既存建物面積	4,000 m <sup>2</sup>
新築建物面積	5,000 m <sup>2</sup>

→新築建物面積に対する既存建物面積の割合

80%

## 2. 共通費率の算出

項目	内訳金額	直接工事費合計
①建築工事	920,000,000	1,959,912,000
②電気工事	344,500,000	
③空調設備工事	403,500,000	
④衛生設備工事	105,000,000	
⑤昇降機設備工事	11,912,000	
⑥屋外施設工事	175,000,000	
⑦共通費		121,200,000
⑧消費税相当額		166,488,960
合計		2,247,600,960

※共通費：共通仮設費、現場管理費、一般管理費

→直接工事費に対する共通費の割合(=⑦/①～⑥)

6.183951%

## 3. 各年度の出来高(様式2-2)

### (1)各年度毎の直接工事費

項目	1年目	2年目	合計
①建築工事	92,000,000	828,000,000	920,000,000
②電気工事	0	344,500,000	344,500,000
③空調設備工事	0	403,500,000	403,500,000
④衛生設備工事	0	105,000,000	105,000,000
⑤昇降機設備工事	0	11,912,000	11,912,000
⑥屋外施設工事	3,000,000	172,000,000	175,000,000
合計	95,000,000	1,864,912,000	1,959,912,000

→各年度の割合

4.85%

95.15%

(1)から直接工事費のうち補助対象外工事を除外

### (2)各年度の直接工事費(補助対象範囲のみ)

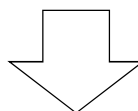
項目	1年目	2年目	合計
①建築工事	90,000,000	799,000,000	889,000,000
②電気工事	0	344,500,000	344,500,000
③空調設備工事	0	403,500,000	403,500,000
④衛生設備工事	0	105,000,000	105,000,000
⑤昇降機設備工事	0	11,912,000	11,912,000
⑥屋外施設工事	0	0	0
合計	90,000,000	1,663,912,000	1,753,912,000

直接工事費の金額に「2. 共通費の割合」と消費税率を乗じる

× 1.06183951 × 1.08

(3)直接工事費(補助対象範囲のみ)+共通費+消費税

項目	1年目	2年目	合計
①建築工事	103,210,800	916,282,550	1,019,493,350
②電気工事	0	395,068,008	395,068,008
③空調設備工事	0	462,728,422	462,728,422
④衛生設備工事	0	120,412,600	120,412,600
⑤昇降機設備工事	0	13,660,523	13,660,523
⑥屋外施設工事	0	0	0
合計	103,210,800	1,908,152,103	2,011,362,903



新築建物面積に対する既存建物面積の割合  
× 80%

(4)(3)のうち補助対象面積相当額

項目	1年目	2年目	合計
①建築工事	82,568,640	733,026,040	815,594,680
②電気工事	0	316,054,406	316,054,406
③空調設備工事	0	370,182,738	370,182,738
④衛生設備工事	0	96,330,080	96,330,080
⑤昇降機設備工事	0	10,928,418	10,928,418
⑥屋外施設工事	0	0	0
合計	82,568,640	1,526,521,682	1,609,090,322

様式2-2の工事費(補助対象)1年目

様式2-2の工事費(補助対象)2年目

4. 建物工事費の算出(様式2-3)

(1)一般工事費の算出

補助対象面積	1年目分面積	2年目分面積
4,000 m <sup>2</sup>	194 m <sup>2</sup>	3,806 m <sup>2</sup>
	新築建物面積 × 各年度の割合	

建物種別単価      大学校舎      188.9 千円/m<sup>2</sup>  
 地域別補正係数      東京      100%  
 補正後単価      188.9 千円/m<sup>2</sup>

一般工事費	1年目一般工事費	2年目一般工事費
	36,646,600 円	718,953,400 円

様式2-3の一般工事費小計 1年目

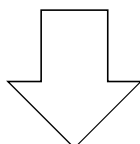
様式2-3の一般工事費小計 2年目

(2)特殊工事費の算出

※特殊工事費については、一般工事費と同様に算出。ただし、一般工事費と同様に算出すると実際の支払い額との乖離が大きくなる場合には以下のように、年度毎に実施する特殊工事費に応じて算出する。

①各年度の直接工事費

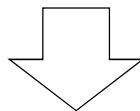
項目	1年目直接工事費	2年目直接工事費
【建築】		
山留工事	30,000,000	
杭工事	53,000,000	
【機械】		
昇降機		10,928,418



直接工事費の金額に「2. 共通費の割合」と消費税  
税率を乗じる  
× 1.06183951 × 1.08

②各年度の直接工事費＋共通費＋消費税

項目	1年目	2年目
【建築】		
山留工事	34,403,600	
杭工事	60,779,694	
【機械】		
昇降機		12,532,564



新築建物面積に対する既存建物面積の割合  
× 80%

③②のうち補助対象面積相当額

項目	1年目特殊工事費	2年目特殊工事費
【建築】		
山留工事	27,522,880	
杭工事	48,623,755	
【機械】		
昇降機		10,026,051

様式2-3の特殊工事  
費小計 1年目

様式2-3の特殊工事  
費小計 2年目